

研究区分	学部研究推進
------	--------

研 究 テーマ	国際関係学部教職課程の自己点検・評価の取り組みに関する基盤を整備するための研究				
研究組織	代 表 者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	橋本 勝
	研究分担者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	園田 明人
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発 表 者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	橋本 勝

講演題目
国際関係学部教職課程の自己点検・評価の取り組みにおける方針。手続きの整備に関する研究
研究の目的、成果及び今後の展望
教育職員免許法では、「教職課程を設置する全ての大学は、教職課程を実施するためのカリキュラム（教育課程）や、教員組織、教育実習、施設及び設備の状況等について、自ら点検・評価を行い公表する」ことが定められており、「教職課程」を設置する大学への「実地視察」も定期的に行われている。本学の教職課程においては、2022 年度から「教職課程自己点検評価報告書」を毎年作成、更新しているが、その取組みの基盤を整備することを目的に本研究を実施した。 令和 4 年度にも橋本勝・園田明人は、国際関係学部にご助成していただき「教職課程の自己点検・評価の仕組み導入のための研究」を実施したが、この研究では、インタビュー調査により、大阪工業大学と順天堂大学の自己点検・評価の実施例から、主として、点検項目を整え、自己点検・評価の取組みを実施するということを目的とした。 このときの教職課程の自己点検・評価の取組みは、国際関係学部においても、大学全体においても、初の取組みであったため、自己点検・評価の実施に関する規定がなく、自己点検・評価の取組み自体も、表面的な事実の羅列的な記載にとどまった。 今回、他大学の状況を調べてみると、たとえば、青山学院大学では「教職課程に関する自己点検・評価の実施方針について」を、同大学の教職課程委員会が設け、「1. 点検体制」・「2. 点検項目」・「3. 点検・評価方法」・「4. 点検・評価時期・サイクル」・「5. 点検・評価結果の取り扱い」を規定して、教職課程の自己点検・評価を実施しているということが分かった。 実際に静岡県立大学が 2023 年度に受審した全学的な大学認証評価「静岡県立大学に対する大学評価（認証評価）結果」において、評価の観点「2 内部質保証」の評価項目「① 内部質保証のための全学的な方針及び手続を明示しているか。」の中で、すでに全学および各部局における内部質保証の方針や手続きの不備について指摘を受けていたこともあり、自己点検・評価活動における方針等の整備は、重要かつ喫緊の課題と考えた。 また、静岡文化芸術大学の教職課程の運営についてインタビューし、ある私立大学が受審した教職課程の実地調査に関する具体的な情報を得ることができた。さらに同大学では、1 年次に、卒業後の進路が教職を第一志望とする学生から免許取得のみを希望する学生に至るまで、それぞれの志望に合わせて学習の見通しを持たせることや、学年末に学生一人ずつとの面談の機会を設ける等、教職を履修する学生の多様な実態に即して、学習の個別最適化の基礎作りの努力をしていることが分かった。 今回の研究活動で、教職の自己点検・評価の方針や手続きを明確化・明文化することとともに、具体的な教職課程履修学生に対する指導の質を高めていくことの必要性が明確となった。